

社会のための学術としての「知の統合」推進委員会（第2回）
議事要旨

1. 日時 平成22年12月28日（火） 16:00-18:00
2. 会場 日本学術会議5-C(1)会議室
3. 出席者：矢川委員長、舘副委員長、原幹事、中西幹事、青柳委員、野家委員、林委員、笠木委員、安達委員、萩原委員、福井委員、福田委員、吉川委員、七文学術調査員
事務局：石原参事官、中島学術調査員ほか
4. 資料
資料1 前回議事要旨（案）
資料2 社会的期待発見研究（試論）
資料3 知の統合の試み：生き物文化誌学会などの例
資料4 知の統合：科学哲学の視点から
5. 議事

議題1 「前回議事要旨（案）」の確認（資料1）

前回議事要旨（案）の確認を行い、承認した。

議題2 文の知と理の知の「知の統合」について（資料2）

吉川委員より、資料2に基づき、社会学者主導の「社会的期待発見研究」の必要性に関する提案があり、議論を行った。

議題3 知の統合の事例紹介（資料3、資料4）

(1) 林委員より資料3に基づき、知の統合の試み（ヒトと動物の関係学会、生き物文化誌学会、総合人間学会）に関する紹介があり、議論を行った。

(2) 野家委員より資料4に基づき、科学哲学の視点から、歴史的展望を踏まえて「知の統合」への試行に関する諸例の紹介があり、議論を行った。

議題4 今後の進め方について

「提言」の作成に向けた基本方針と今後の審議の進め方に関し、舘副委員長から説明がなされ、以下の点が承認された。

- ・ 次回の委員会で3名の事例報告（第1部と第2部より）を行う。
- ・ その他の委員の事例については、七文学術調査員によるインタビューを行う。
- ・ 幹事会で、「提言」の内容ならびにスケジュールに関する検討を行い、次回の委員会で審議する。
- ・ 「提言」（案）の提出期限は平成23年5月末。

・ 次回委員会の日程

次回委員会を平成23年2月中旬に開催することとし日程調査を行った後に最終決定することとした。